

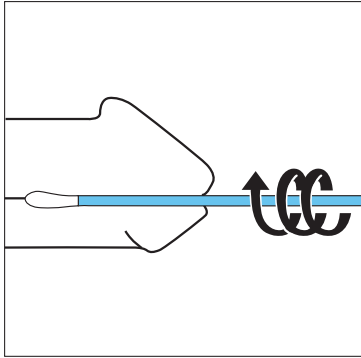
## 淋菌／クラミジアトラコマチス同時核酸増幅 [TMA法 (Q23, Q24, Q25(=Q24)) ]

### 淋菌・クラミジアトラコマチス [TMA法 (Q23, Q24, Q25(=Q24)) ]

#### 採取方法

##### ●男性（尿道）（Q23）

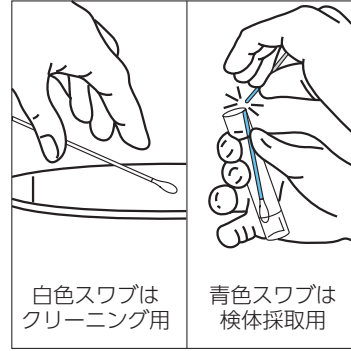
排尿後1時間以上経過してから採取



- ①青色スワブを尿道に2～4 cm挿入します。
- ②スワブを時計方向に2～3秒間ゆっくり回転させ、擦過物を採取します。
- ③ゆっくりとスワブを抜き取ります。
- ④スワブ搬送用チューブのキャップをはずし、ただちにスワブをチューブ内のスワブ搬送液に懸濁します。
- ⑤内容物が飛散しないよう注意しながら、スワブを所定の位置で折ります。
- ⑥スワブ搬送用チューブのキャップをしっかりと閉めます。
- ⑦2～30℃で保存します。

##### ●女性（子宮頸管）（Q23）

白色スワブで粘液等を取り除いてから青色スワブで採取



白色スワブは  
クリーニング用

青色スワブは  
検体採取用

- ①白色スワブで子宮頸管と、その周辺の過剰な粘液を取り除き、そのスワブは破棄します。
- ②青色スワブを子宮頸管内に挿入します。
- ③スワブを時計方向に10～30秒間ゆっくりと回転させ、擦過物を採取します。
- ④スワブの先が膣粘液に触れないよう注意しながら抜き取ります。
- ⑤スワブ搬送用チューブのキャップをはずし、ただちにスワブをチューブ内のスワブ搬送液に懸濁します。
- ⑥内容物が飛散しないよう注意しながら、スワブを所定の位置で折ります。
- ⑦スワブ搬送用チューブのキャップをしっかりと閉めます。
- ⑧2～30℃で保存します。

##### ●男性（初尿）（Q24）

- ①初尿（排尿時における最初の部分の尿）20～30mLを尿採取カップに採取します。尿を多量に採取し過ぎた場合、検体が希釈され検出感度の低下につながる恐れがありますのでご注意ください。
- ②尿搬送用チューブのキャップをはずし、添付のスポイドで尿を2 mL分取し、チューブ内の尿搬送液に混合してください。チューブの黒線と黒線の間が液体があれば、正しい分量の尿を採取できたことになります。（図参照）採取した尿は2～30℃の保存下で24時間以内に尿搬送用チューブに移してください。
- ③尿搬送用チューブのキャップをしっかりと閉めます。
- ④2～30℃で保存します。



#### 注意事項

- 1) Q23容器には2.9mLの搬送液が、Q24容器には2.0mLの搬送液が入っています。採取後、搬送液は捨てずにそのままご提出ください。
- 2) 保存液に浸した試料は培養検査等に用いることは出来ません。

●うがい液（Q25（=Q24））

- ①生理食塩水15～20mLを口に含み、顔を上に向けて15～20秒間勢いよく“ガラガラ”とうがいを行います。
- ②うがい液全量をコップに回収します。
- ③添付のスポイトでうがい液を2mL分取し、搬送用チューブへ24時間以内に移してください。  
注）搬送用チューブの黒線と黒線の間に液面があるようにしてください。（144ページ：Q24の図参照）

**注意事項**

検体採取前の食事、うがい、歯磨き、ガムを噛むことなどは避けてください。